

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

Ref. 2

(11)Publication number : 2000-032168

(43)Date of publication of application : 28.01.2000

(51)Int.Cl.

H04M 11/08  
H04M 1/00  
H04M 1/274  
H04M 1/64  
H04M 3/42  
H04N 1/00  
H04N 1/32  
H04Q 7/38

(21)Application number : 10-201390

(71)Applicant : SHARP CORP

(22)Date of filing : 16.07.1998

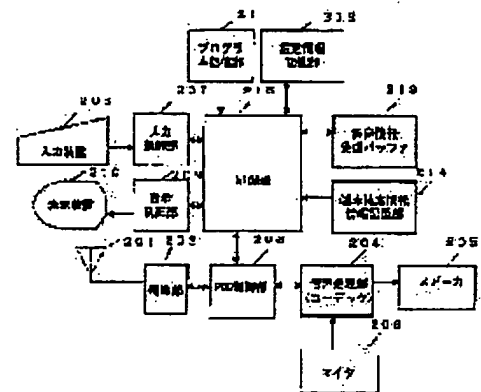
(72)Inventor : MORI TAKAHIRO

## (54) INFORMATION PROVIDING SERVICE SYSTEM

(57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To freely and easily perform various setting by allowing a communication terminal device to set data based on various setting information transmitted from an information providing service center.

**SOLUTION:** When a user selects an item which the user wants to set by using an input device 208, a communication terminal transmits the item selected by the user to a center through a PDC controlling part 203, a radio part 202 and an antenna 201. When a request comes from a terminal, the center inquires of a setting information database about setting information through an input-output interface by using an originating ID that is already stored. Inquired data is once stored in a setting information temporary storage buffer and when setting information corresponding to the originating ID exists, the setting information is transmitted to the terminal. The terminal side stores received setting information in a setting information receiving buffer 213, analyzes the setting information stored in the buffer 213 and extracts an item and setting content which should be set.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-32168

(P2000-32168A)

(43) 公開日 平成12年1月28日 (2000.1.28)

(51) Int.Cl.	識別記号	F I	テマート* (参考)
H 0 4 M 11/08		H 0 4 M 11/08	5 C 0 6 2
1/00		1/00	R 5 C 0 7 5
1/274		1/274	5 K 0 2 4
1/64	1 0 3	1/64	1 0 3 A 5 K 0 2 7
3/42		3/42	Z 5 K 0 3 6

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 8 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願平10-201390

(22) 出願日 平成10年7月16日 (1998.7.16)

(71) 出願人 000005049

シャープ株式会社

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号

(72) 発明者 森 孝弘

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 シ

ャープ株式会社内

(74) 代理人 100103296

弁理士 小池 隆彌

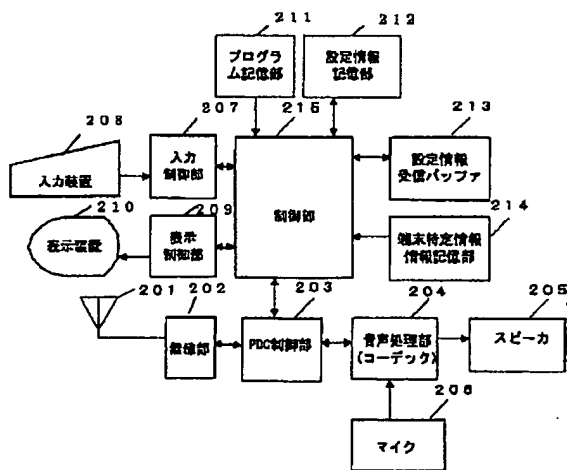
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 情報提供サービスシステム

(57) 【要約】

【課題】 情報提供サービスシステムの利便性を向上する。

【解決手段】 端末側からの要求に従って端末の各種設定情報を送信する情報提供サービスセンタと、情報提供サービスへのアクセス機能とを有し、前記情報提供サービスセンタから送信された各種設定情報をもとにデータの設定をおこなう通信端末装置からなる情報提供サービスシステム。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 端末側からの要求に従って端末の各種設定情報を送信する情報提供サービスセンタと、情報提供サービスへのアクセス機能とを有し、前記情報提供サービスセンタから送信された各種設定情報をもとにデータの設定をおこなう通信端末装置からなる情報提供サービスシステム。

【請求項2】 請求項1記載の情報提供サービスシステムにおいて、前記情報提供サービスセンタは端末の発信IDをもとに、各端末に対応した設定情報を送信することを特徴とする情報提供サービスシステム。

【請求項3】 請求項1記載の情報提供サービスシステムにおいて、通信端末側から、端末を特定できる情報を送信し、前記情報提供サービスセンタはその情報にもとづいて設定情報を送信することを特徴とする情報提供サービスシステム。

【請求項4】 請求項1記載の情報提供サービスシステムにおいて、設定作業を対話的におこなうことを特徴とする情報提供サービスシステム。

【請求項5】 請求項1記載の情報提供サービスシステムにおいて、通信端末から端末の機能種別を送信し、それに基づいてサービスセンタが設定情報を送信することを特徴とする情報提供サービスシステム。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、本発明は携帯電話機、PHS電話機、電話機、ファクシミリ装置などの通信端末装置において、特に情報提供サービスに接続することが可能なものに関し、詳しくは情報提供サービスシステムに関する。

## 【0002】

【従来の技術】最近、携帯電話機、PHS電話機などの通信端末装置における高機能化はめざましい。しかも、端末自体の高機能化だけでなく、留守番電話サービスや電話転送サービスまた電子メールサービスといった通信事業者又はその他のサービス提供事業者側によるサービスも充実してきている。

【0003】これに伴い、ユーザがおこなう設定作業も非常に煩雑になってきている。これらの作業は通常マニュアルを参照しながらおこなわれ、さらに、各端末装置によって設定内容の異なるものもあり、設定作業はかなり面倒である。

【0004】例えば、留守番電話サービスに関する場合、端末側で留守録再生用の電話番号や初期パスワードを設定する必要があるが、初期パスワードはもちろんのこと、地域ごとにサービスセンタが異なる場合などでは留守録再生用の電話番号も各端末により異なる。これまではサービス加入者へ郵送で設定すべき内容を送り、ユーザがそれを見て設定をおこなうという作業がおこなわれており、設定作業は非常に面倒であった。

【0005】これに対して、例えば、ファクシミリ装置などにおいて短縮ダイヤルなどの登録内容をサービスマンが遠隔から送信し、ファクシミリ装置側では受信した内容の登録をおこなうという方式が提案されている（特開平5-160918号公報）。確かにこの方式を使用すれば、ユーザ側での設定作業の手間を省くことができる。

## 【0006】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、この方式では登録作業をおこなうサービスマンが必要となるため、余分なコストがかかる。また、ユーザ自身が自由に設定をおこなうことも困難である。

【0007】また、磁気カードなどから読み取られた個人情報交換装置に向け送信し、交換装置から受信した個人情報に対応する個人テーブルの情報に基づき通信端末装置の機能設定をおこなう方式も提案されている（特開平5-63782号公報）。

【0008】この方式を使用すれば、端末ごとに設定内容が異なる場合にも対応できそうであるが、磁気カードリーダーなど特殊な装置を通信端末内に持つ必要があること、交換装置側でも特別な装置が必要となること、また、この方式の本来の目的は端末を複数人で使用するとき各個人ごとの設定で使用できることにあるため、あらかじめ個人テーブル情報を登録しておく必要もある。

【0009】そこで、本発明はユーザが情報提供サービスを用いることにより、各種設定作業を自由にまた手軽におこなえることを目的とする。情報提供サービスは最近よくみられるようになったサービスであり、これは端末側から情報提供サービスセンタへアクセスすることによって天気予報や最新ニュースなどの種々の情報をダウンロードして与えることができるものである。

## 【0010】

【課題を解決するための手段】請求項1記載の情報提供サービスシステムは、端末側からの要求に従って端末の各種設定情報を送信する情報提供サービスセンタと、情報提供サービスへのアクセス機能とを有し、前記情報提供サービスセンタから送信された各種設定情報をもとにデータの設定をおこなう通信端末装置からなる情報提供サービスシステムである。

【0011】請求項2記載の情報提供サービスシステムは、請求項1記載の情報提供サービスシステムにおいて、前記情報提供サービスセンタは端末の発信IDをもとに、各端末に対応した設定情報を送信することを特徴とする情報提供サービスシステムである。

【0012】請求項3記載の情報提供サービスシステムは、請求項1記載の情報提供サービスシステムにおいて、通信端末側から、端末を特定できる情報を送信し、前記情報提供サービスセンタはその情報にもとづいて設定情報を送信することを特徴とする情報提供サービスシステムである。

【0013】請求項4記載の情報提供サービスシステムは、請求項1記載の情報提供サービスシステムにおいて、設定作業を対話的におこなうことを特徴とする情報提供サービスシステムである。

【0014】請求項5記載の情報提供サービスシステムは、請求項1記載の情報提供サービスシステムにおいて、通信端末から端末の機能種別を送信し、それに基づいてサービスセンタが設定情報を送信することとを特徴とする情報提供サービスシステムである。

【0015】

【発明の実施の形態】以下、本発明の情報提供サービスシステムの一実施例について、図に従って説明する。

【0016】図1は、情報提供サービスシステムのシステム図である。101は通信端末であり、携帯電話やPHSなどをあらわす。102は基地局、103は携帯電話やPHSの通信網、104は通信網を通過してきたデータの変換をおこなうためのダイヤルアップルータ、105は通信端末側からの要求に従って各種情報を送信する情報提供サーバ、106は各通信端末に対応した設定情報を貯えておく設定情報データベースである。

【0017】図2は、通信端末の機能ブロック図であり、201はアンテナ、202はアンテナを介して基地局と電波の送受信をおこなう無線部、203は無線部に送受信される電波の変復調や各種データの判定/分離などの処理をおこなうPDC制御部、204は音声データの変復調をおこなう音声処理部、205は音声信号を外部に放音するスピーカ、206は外部音声を集音して電気信号に変換し、PDC制御部に伝えるマイク、207はキー、タブレットなどの入力装置208を制御する入力制御部、209は画面への表示をおこなう表示装置210の制御をおこなう表示制御部、211は情報提供サービスへのアクセス機能や受信した設定情報の解析機能プログラムなどの各種プログラムを記憶したプログラム記憶部であり、EEPROM、フラッシュメモリなどで構成される。

【0018】212は通信端末の各種設定情報を記憶する設定情報記憶部、213は情報提供サービスセンタから送信された設定情報を一時的に格納するための設定情報受信バッファ、214は端末IDなど端末を特定するための情報を格納する端末特定情報記憶部。そして、215は以上の各部を制御する制御部である。

【0019】図3は、情報提供サーバの機能ブロック図である。ここで、301は通信端末への応答機能や設定情報データベースへの問い合わせ機能プログラムなどの各種プログラムを記憶したプログラム記憶部であり、ハードディスクなどで構成される。302は天気予報情報やニュース情報など通信端末側に提供する情報を記憶する各種情報記憶部、303は設定情報データベースから得られた設定情報を一時的に格納する設定情報一時格納バッファ、304はダイヤルアップルータや設定情報デ

ータベースとの間でデータのやりとりをおこなう入出力インタフェース、305は以上の各部を制御する制御部である。

【0020】次に本実施例の動作について図4のフローチャートに従って説明する。ここでは特に留守番電話サービスの設定をおこなう場合について説明する。留守番電話サービスの設定では、留守録再生用の電話番号や初期パスワードを設定する。留守録を再生するときには留守録再生用電話番号への発呼をおこなわなければならないが、再生用電話番号を設定しておくことで電話番号を入力する手間が省ける。また、他の利用者が自分の留守録を聞いてしまわないようにパスワードによる認証をおこなっており、このためにパスワードの設定が必要となる。

【0021】まず、ユーザが通信端末において情報提供サービスへのアクセスを実行すると通信端末はPDC制御部203、無線部202、アンテナ201を介して情報提供サービスセンタに発呼をおこなう（ステップ401）。

20 【0022】このとき、情報提供サービスセンタ側では通信端末からの発呼を受けたときに通信端末の発信ID（発ID）を記憶しておく（ステップ402）。

【0023】この後、図5のような画面で各項目を選択するとセンタから情報が送信される。たとえば図5において、端末の設定を選択すると、センタから機種リスト情報が送信され、機種を選択すると設定情報が送信される（ステップ403）。

30 【0024】ここで、ユーザが入力装置208を用いて設定したい項目を選択すると通信端末はセンタにたいして、ユーザによって選択された項目をPDC制御部3、無線部2、アンテナ1を介して送信する（ステップ404）。

【0025】センタでは、端末からの要求があると、ステップ402で記憶しておいた発IDを用いて入出力インタフェース304を介して設定情報データベース106に設定情報の問い合わせをおこなう（ステップ405）。

40 【0026】問い合わせ結果はいったん、設定情報一時格納バッファに格納し、発IDに対応する設定情報が存在した場合には、その設定情報を端末に向けて送信する（ステップ406）。

【0027】一方、端末の所有者が留守番電話サービスに加入していないような場合で、設定情報が存在しないという問い合わせ結果を得た場合には「設定できません」などのメッセージを端末に送信する（ステップ407）。

【0028】一方、端末側は受信した設定情報を設定情報受信バッファ213に格納する（ステップ408）。

50 【0029】そして、バッファに格納された設定情報を解析し、設定すべき項目と設定内容を抽出する。例え

ば、留守録再生用電話番号や留守録再生用パスワードが抽出される(ステップ409)。

【0030】最後に、ステップ410で抽出されたデータをもとに設定情報記憶部212の内容を書き換えることで端末の設定が完了する。

【0031】上記の動作後にユーザが留守録の再生を指定すると、通信端末は設定情報記憶部212に上記の動作で登録された留守録再生用電話番号を取得し、PDC制御部203、無線部202、アンテナ201を介してこの電話番号にたいする発呼処理をおこなう。そして通信網側からパスワードを要求されてきたら、設定情報記憶部212から今度は留守録再生用パスワードを取得し、PDC制御部203、無線部202、アンテナ201を介して送出する。以上の動作により、留守録の再生をおこなうことができる。

【0032】なお、本実施例では発IDをもとにセンタ側が端末に対応した設定情報を送信したが、端末側がステップ404で選択された項目を送信するときに端末を特定できる情報もいっしょに送信し、センタがこの情報をもとに端末に対応した設定情報を送信するようにしてもよい。また、機種情報を送信するようにすれば、図4のように自機種を選択する必要がなくなり、ユーザの手間を省くことができる。

【0033】この機種情報は、端末の機能種別を表す1方法であり、この他に端末から自身の能力を1つずつ報告する方法も取れる。

【0034】また、本実施例ではユーザが一度設定したい項目を選択した後は設定完了まで自動でおこなわれるが、その前にユーザに確認をとるようにすることもできる。また、転送先の電話番号などユーザからの入力が必要な場合に、ユーザへの入力を要求し、端末から入力結果をセンタに送信し、センタでは受信した入力情報と設定情報データベースとの内容とをあわせて設定情報を作成するようにしてもよい。

【0035】

【発明の効果】請求項1記載の発明によれば、ユーザが情報提供サービスにアクセスすると自動で端末の設定がおこなわれるため、ユーザがマニュアルを読むような手間を省き、設定作業を楽にすることができる。また、既存の情報提供サービスセンタを使用できるため、システムの構築に要するコストも小さい。

【0036】請求項2記載の発明によれば、センタが発IDをもとに端末を特定し、端末に対応した設定情報を送信するので、留守番電話サービスの初期パスワードといった端末ごとに設定情報が異なる場合でも、自動で設定をおこなうことができる。

【0037】請求項3記載の発明によれば、端末から端末を特定できる情報を送信し、センタではこの情報をもとに設定情報を送信するため、ユーザが自機種を入力しなくとも機種の判別をおこなうことができ、機種に対応した設定情報を送信することができる。

【0038】請求項4記載の発明によれば、ユーザに確認をとるようにするなど設定作業を対話的におこなうことにより、誤った設定がなされるのを防げるなど操作性を向上させることができる。

【0039】請求項5記載の発明によれば、各々のユーザー毎のデータをセンタが持つ必要がなく、機種毎に共通の又は機能毎に共通の設定データを持つだけで良いのでセンタの記憶量が少なくて済む。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例の全体システムを示す図である。

【図2】本発明の一実施例における通信端末の機能ブロックを示す図である。

【図3】本発明の一実施例における情報提供サーバの機能ブロックを示す図である。

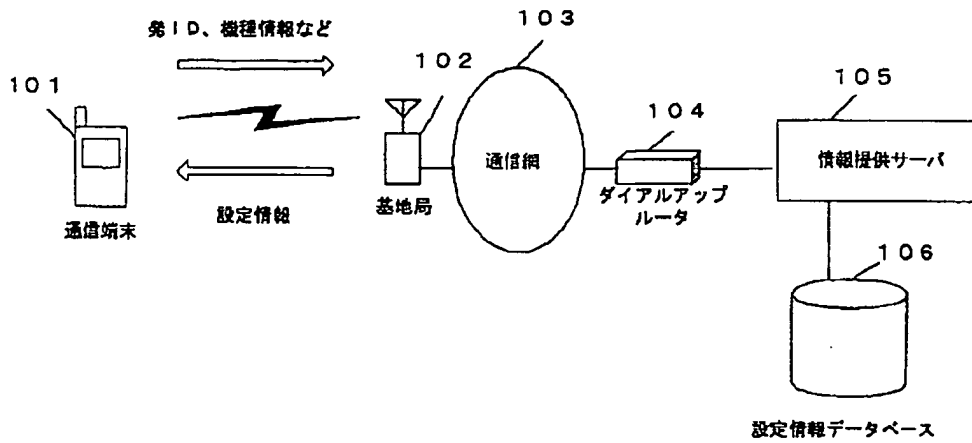
【図4】本発明の一実施例の動作概要を示すフローチャートである。

【図5】本発明の一実施例における画面遷移図を示す図である。

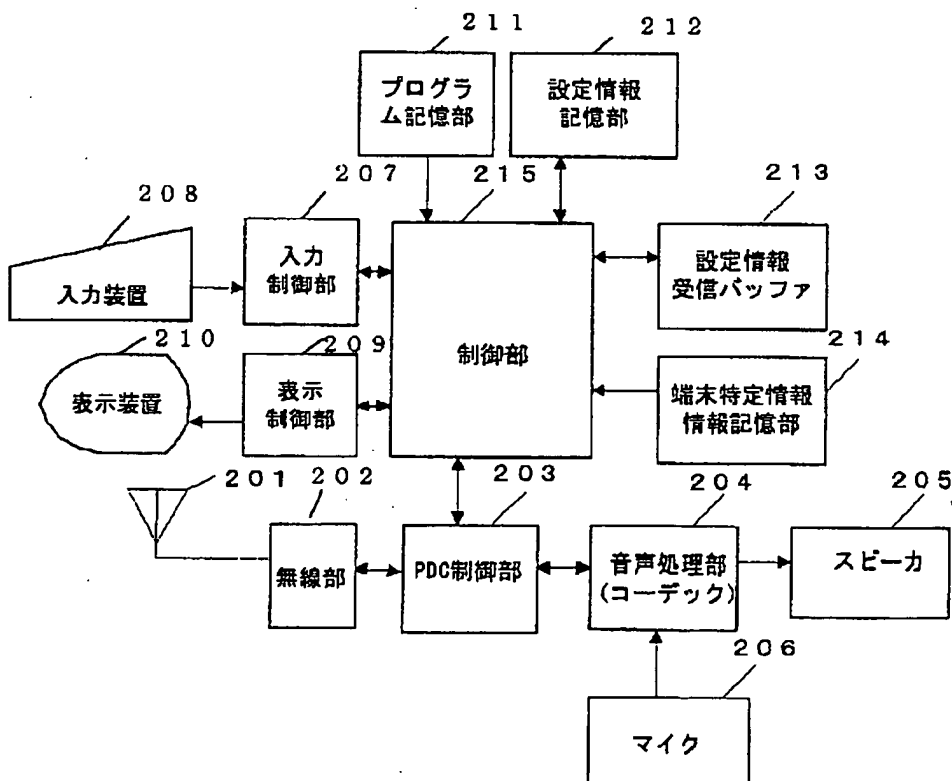
【符号の説明】

- 101 通信端末
- 102 基地局
- 103 通信網
- 104 ダイアルアップルータ
- 105 情報提供サーバ
- 106 設定情報データベース
- 202 無線部
- 203 PDC制御部
- 204 音声処理部
- 205 スピーカ
- 206 マイク
- 207 入力制御部
- 208 入力装置
- 209 表示制御部
- 210 表示装置
- 211 プログラム制御部
- 212 設定情報記憶部
- 213 設定情報受信バッファ
- 214 端末特定情報記憶部
- 215 制御部

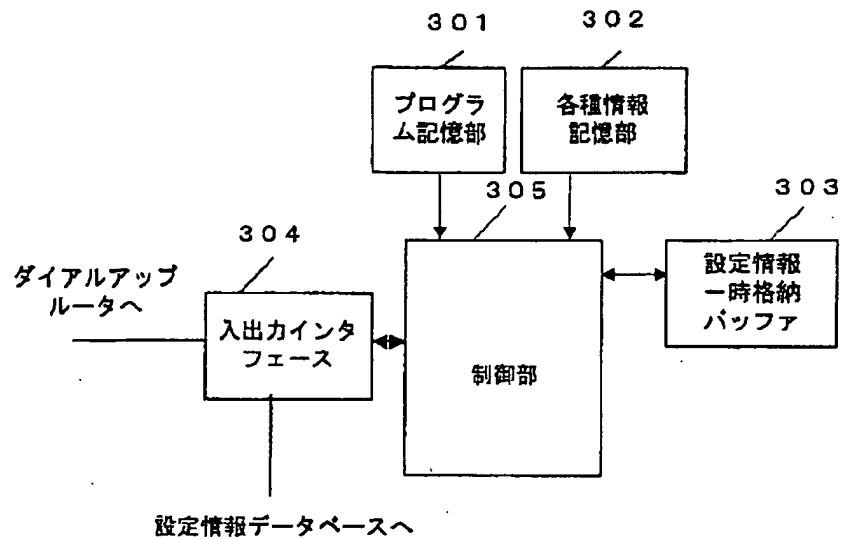
【図1】



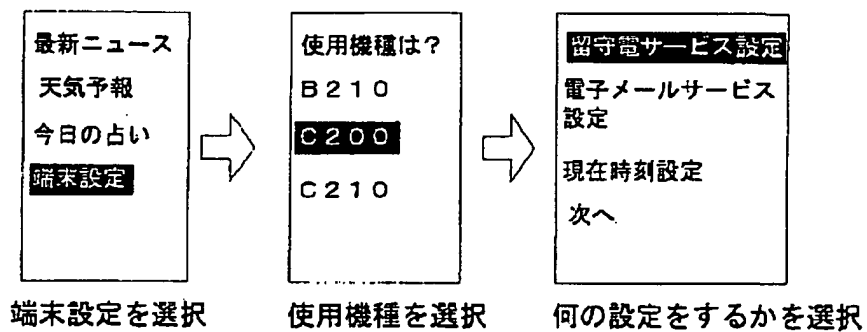
【図2】



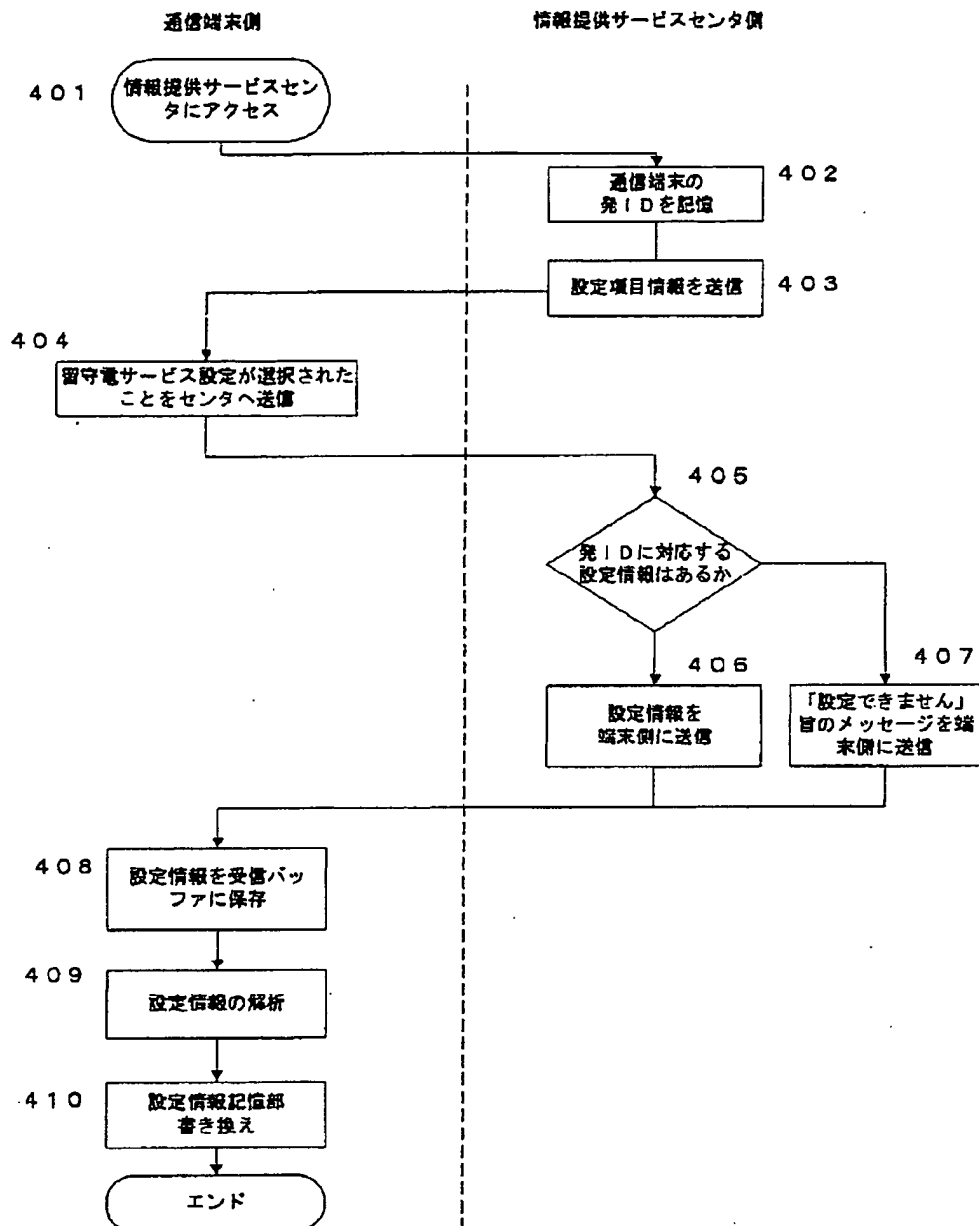
【図3】



【図5】



【図4】



フロントページの続き

(51)Int.Cl.

識別記号

FI

ターミナル(参考)

H04N 1/00

104

H04N 1/00

104Z 5K039

1/32

1/32

Z 5K067

H04Q 7/38

H04Q 7/04

D 5K101



Fターム(参考) 5C062 AA25 AC02 AE16 AF02 AF03  
AF14  
5C075 CD04 CD05 CD07 CD13 CD90  
5K024 AA73 AA76 GC01  
5K027 BB02  
5K036 AA01 BB01 JJ10 LL05  
5K039 AA01  
5K067 AA21 BB04 DD17 DD52 EE02  
FF02 FF07 GG12 HH14 HH31  
5K101 KK06 KK16 MM07 VV07